

粘り強い富山県人気質で
世界が驚く大発見
県出身の田中耕一さんが
ノーベル化学賞を受賞



県人初のノーベル賞受賞が決まった
田中耕一さん

今年のノーベル化学賞に、
県出身の田中耕一さんが選ば
れました。戦後生まれ、企業
研究者としてのノーベル賞受
賞はいずれも日本初。しかも
現在四十三歳の若さに日本中
が湧きかえりました。

田中さんは昭和三十四年富
山市の生まれで、八人町小、
芝園中、富山中部高校を経て
東北大学へ進学。卒業後、京
都の島津製作所に入社し、企
業研究者としてたんぱく質の
質量や構造解析などに携わっ
てきました。

受賞のきっかけとなったの
は、さまざまなたんぱく質の
質量を測る「ソフトレーザー
脱着法」という手法。これは、
人間の生命活動の基本となる
たんぱく質についてその種類
を素早くかつ正確に解析する
もので、この画期的な技術は
世界のたんぱく質研究を一気
に加速させました。今後はさ
らにがん研究や新薬開発など
医療分野での応用が期待され
ています。

現在京都市に住む田中さん
は、十月十三日に開催された
京都県人会総会に出席。近畿
地方在住の県出身者約七百人
から祝福を受けました。お祝
いに駆けつけた中沖知事から
花束を受け取った田中さん
は、「富山県人ということでは
粘り強さが受賞につながる大
きな要因だった」と振り返り
ました。



京都府県人会総会に出席した田中さん

十月十九日には、受賞決定
後初めて富山へ帰郷。中沖知
事らとの懇談では、「新薬開発
につながる研究での受賞は
『薬の富山県』としても嬉しい
い」との言葉に「知識を生かし
て人と人をつなげ、できれば
産学官の研究連携などに仕事
の幅を広げていきたい」と応
えた田中さん。記者会見では
「受賞が県民みなさんを勇気
づけたようで嬉しい」と喜び
を語りました。



実家前であたたかく迎えられる田中さん

また、県人初の快挙に、
R富山駅や実家前には多くの
人々が詰めかけました。熱烈
な歓迎を受けた田中さんは、
待ち受けた人の数に驚きなが
らも、お祝いの声に笑顔で応
えていました。

県では、今後成長が期待さ
れる分野としてバイオ産業の
育成に力を入れていますが、
今回の受賞はその弾みとなる
もの。県では、新たに創設す
る「名誉県民」の称号を贈り、
その栄誉を称えることとして
います。

問合せ

県庁総合政策課

☎ 076(444)9605